

新刊案内



まだかなまだかな
いとう まさみち



まねまねおおかみ
みやにし たつや

効きすぎて中毒になる最強の心理学 ----- 神岡真司
地形で読み解く古代史 ----- 関裕二
働けるうちは働きたい人のためのキャリアの教科書
----- 木村勝
面白くて眠れなくなる元素 ----- 左巻健男

さばき方から加熱までがよくわかる最新鶏料理
----- 柴田書店
カフェ・バッハの接客サービス ----- 田口護
山登り語辞典 ----- 鈴木みき
悩ましい国語辞典 ----- 神永暁



「妖怪」

地域や時代によってその姿や行動は異なるものの、古くから日本各地で伝えられてきた妖怪。近年でも妖怪を題材とした作品は多く、「小説や漫画、ゲームで妖怪を知った」という方も多いのではないのでしょうか？今回はそんな妖怪に関する本をご紹介します。

小松和彦『妖怪学の基礎知識』。「妖怪とは何か？」から始まり、説話の中での妖怪の姿や、かつて畏怖の対象であった妖怪がフィクションとしての娯楽へと変化していった過程など、さまざまな角度から妖怪に迫っていきます。妖怪の知識を基礎から身に付けられる、読み応え抜群の一冊です。

近藤雅樹『図説 日本の妖怪』。一見恐ろしいのどこか愛嬌のある妖怪の絵巻物や、鬼を模したおどろおどろしいお面など、妖怪にまつわる絵や工芸品が数多く掲載されています。「王朝の怪異」や「現代と妖怪」など、11のテーマに沿った解説が、迫力満点の図版と共に楽しめます。

村上健司『怪しくゆかいな妖怪穴』。毎日小学生新聞で連載されている「妖怪穴」で紹介された妖怪の中から100種をピックアップして紹介。「座敷わらし」や「ろくろ首」のような有名な妖怪から、「しゃべり石」や「夜入スメ」などのあまり聞きなれない妖怪まで、イラスト付きで易しく解説されています。読んでいるうちに怖いだけではない、愉快な妖怪の姿が見えてくるかもしれません。

8月の休館日

7日(月)、14日(月)、21日(月)、25日(金)
28日(月)
開館時間
火～金曜日 午前10時～午後7時
土・日曜日、祝日 午前10時～午後5時

お知らせ

今年度の課題図書の貸し出しは例年通り7月1日から8月31日まで、1人1冊1週間(予約不可)となります。ご了承ください。

